

令和6年度 がん検診施策の推進に関する取組

※令和6年度東京都予算案が東京都議会で可決された場合に実施

1.がん検診実施機関における精度管理のためのデータ活用事業

予算案額：20百万

背景

・都道府県及び区市町村は、がん検診委託先である検診機関が適切にがん検診を行ったかを評価し、検診機関へフィードバックする役割を担っている。区市町村用チェックリストにおいては、検診機関別プロセス指標値・検診実施機関用チェックリストの調査実施と検診機関へのフィードバックを行うことが求められているが、実施率は十分ではない。

実施内容

・検診機関毎の精度管理を推進するため、以下の指標を把握するための共有システムを構築し、調査を実施する。

令和6年度：システム構築

令和7年度：システムによる調査開始

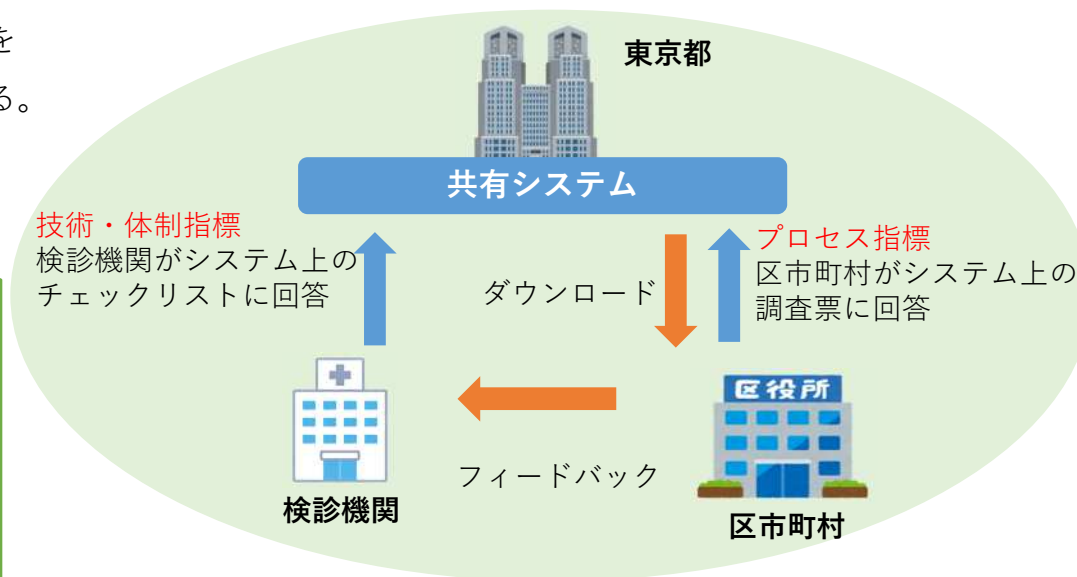
【技術・体制指標】

検診機関が最低限整備すべき検診実施体制が記載されたチェックリスト※により把握可能

※国立がん研究センター作成

【プロセス指標】

検診機関毎の受診率、精検受診率、要精検率など



➤調査により収集したデータは、システムにより自動集計・グラフ化することで、データの見える化を狙う。

➤データの見える化をすることで、技術・体制指標であるチェックリスト実施率が低い検診機関や、プロセス指標で異常値がある検診機関を区市町村が把握し、改善を促すことができる。

令和6年度 がん検診施策の推進に関する取組

※令和6年度東京都予算案が東京都議会で可決された場合に実施

2. 同世代の著名人を起用した機運醸成（退職者層向け普及啓発事業【60代女性向け】）

予算案額：12百万

背景

- 全てのがん種において、概ね40~50歳代をピークに年代が上がるにつれて受診率が減少する。
 - 特に60歳代女性の受診率が全体的に低い。
 - 60歳代以降の未受診理由の多くは、「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」が占める。
 - 60歳代の「国が推奨するがん検診」の認知度は、男性は38.0%、女性は52.2%に留まる。
- ▶ がん検診の受診率については、**60歳代女性が全年代と比較して低い**傾向があるが、これはがん検診についての**正しい知識が不足**していることや、**退職後、区市町村のがん検診への移行がうまくできていない**ことなどが考えられる。

実施内容

○著名人を起用したコラムの作成

60歳代女性を重点啓発対象とし、9月のがん征圧月間に合わせて、ポータルサイト「TOKYO #女子けんこう部」に同世代の著名人ががん検診を受診した体験記をコラムとして掲載するとともに、60歳代女性をターゲットとしたWEB広告等を実施する。また、コラムを周知するポスターを作成し、60歳代女性が興味を持つイベント等で掲示することで、より一層広報を強化する。

コラムからポータルサイト「TOKYO #女子けんこう部」の詳細情報への導線を作り、理解促進を図る。

- ▶ 記事の中に「国が推奨するがん検診」の内容等を記載することで、**がん検診についての正しい理解を促す**とともに、退職に伴う医療保険の切り替え時にごがん検診は職域から地域での検診になり、申し込みが必要となること等についても記載することで、**退職後は区市町村のがん検診受診を促す**。また、著名人の受診体験談により**同世代が検診を受診している雰囲気**を醸成し、より一層の受診促進を図る。

大切な、わたしのからだ。チェックしよう。ケアしよう。



令和6年度 がん検診施策の推進に関する取組

※令和6年度東京都予算案が東京都議会で可決された場合に実施

3.メッセージカードを活用したがん教育との連携（ファミリー層向け普及啓発事業）

予算案額：5百万

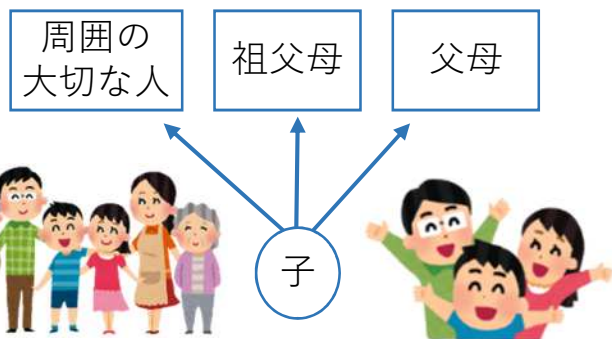
背景

東京都がん対策推進計画（第三次改定）では、**がん検診受診率の目標値を60%**に設定する予定。がん検診受診率のさらなる向上に向け、イベントや各種媒体を活用した広域的な普及啓発を実施し、検診受診の機運を醸成することが必要。

中でも働き盛り世代のがん罹患は、心理的・経済的にも負担が大きくなるため、適切に検診を受け、がんの早期発見・早期治療につなげる必要がある。そこで、働き盛り世代を重点啓発対象とし、**家族をテーマとした啓発**を実施することにより受診促進を図る。

実施内容

がん教育の対象となる都内の小中高生へメッセージカードを送付し、身近な検診対象世代（家族や周囲の大切な人など）へメッセージカードを手渡してもらうことで、日頃の感謝を伝えるとともに、がん検診について考えたり、家族で話したりするきっかけとしてもらい、がんの罹患率が高まる世代の受診行動につなげる。都から各学校へメッセージカードを送付し、がん教育実施後に児童・生徒へメッセージカードを配布してもらうことを想定。



がん教育を受けた子から周囲の検診対象世代へ

参考：R5メッセージカード（誰でも用）【モシカモくん】

（表）



（裏）

